



ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 202

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
書名の後の（ ）の数字は請求記号です。

問) 映画「ハクソー・リッジ」の舞台が、沖縄県浦添の「前田高地」と聞いた。
前田高地に関する資料はないか。

答) 「前田高地」「浦添」「沖縄戦」等をキーワードにして検索し、目次から内容を確認します。

前田高地 で **全資料検索** → **8件該当 (図書6件、雑誌2件)**

主な資料は… 『沖縄戦と戦争遺跡』(閉架 219.9/052) 閉架
『私の沖縄戦記』(閉架 916/H82) 閉架
『丸 別冊 第13号』(閉架 209/Ma54/13) 閉架

浦添 で **全資料検索** → **37件該当 (図書30件、雑誌7件)**

沖縄戦 で **全資料検索** → **793件該当 (うち、図書687件、雑誌96件)**

映画「ハクソー・リッジ (HACKSAW RIDGE)」とは：

沖縄戦下の前田高地を舞台にした、米衛生兵の実話に基づく映画。前田高地での戦闘は昭和20年4月26日からの11日間にわたり、「沖縄戦最大の激戦地」といわれている。

米軍側は、北側の急な崖を「Hacksaw Ridge (弓鋸のような崖)」と呼んだ。

『浦添市史』(219.9/U87/5-4 閉架)によると、浦添村(当時)では、住民の44.6%にも及ぶ4,112人が戦闘に巻き込まれるなどして死亡した。

浦添市の公式ホームページでは、現在、「『ハクソー・リッジ』の公開によせて」と題した特集ページを開設し、「戦災実態調査票」(『浦添市史』)等を交えて解説しています。

こちらもあわせて、参考になさってください。

<http://www.city.urasoe.lg.jp/docs/2017050200104/>

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

『鐘の鳴る丘』

戦争孤児たちの救済

終戦後、駅の地下道等に寝泊まりし、物乞いや靴磨きをして暮らす子どもたちがいました。彼らは空襲被害によって、あるいは外地からの引揚げの時に家族を失った戦争孤児でした。当時は「浮浪児」と呼ばれ、生きていくために犯罪に手を染める者もいて、世間からの目は冷たいものでした。

昭和23年2月に実施された厚生省（現・厚生労働省）による「全国孤児一斉調査」によると、孤児の総数は123,511人にものぼりました。実際には、この数倍の孤児がいたと考えられています。

GHQ（連合軍総司令部）総司令官のマッカーサーは、アメリカネブラスカ州で孤児院を営むカトリック神父のエドワード・ジョセフ・フラナガン氏の来日を促し、戦争孤児の対策について助言を求めました。フラナガン神父は、少年の非行化は、社会環境を改善することで防止できるという信念で、少年たちを更生させてきた人物です。神父は昭和22年(1947)4月に来日し、全国を回り、孤児たちとふれあいました。神父の来日を機に、GHQ民間情報教育局はNHKに対し、戦争孤児救済のためのキャンペーンドラマを制作するように指示しました。

3か月後の7月5日、NHKラジオで連続放送劇『鐘の鳴る丘』（原作：菊田一夫）が始まりました。大人、子どもを問わず多くの人の共感をよび、大ヒットしました。当初は土曜と日曜の週2回放送でしたが、昭和23年4月からは週5回（月～金曜）に増やされ、半年の予定だった放送期間も昭和25年まで継続されました。主題歌の『とんがり帽子』（作詞：菊田一夫、作曲：古関裕而）も広く歌われ、昭和23年(1948)の選抜高校野球の入場行進曲にもなりました。

昭和館図書室では、紙芝居『鐘の鳴る丘』（東京篇と信州編の2作品）のコピーファイルをご覧ください（ご希望の方はカウンターまでご相談ください）。



◎参考文献

- 『昭和 第8巻』(210.7/Ko19/8)閉架大型
- 『戦争孤児』(369.37/H85)閉架
- 『シリーズ戦争孤児 1』(369.37/Se73/1)開架児童書

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 202

2017年7月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1